

## 2022 年度事業報告書

### [1] 研修セミナー（フォーラム'80）

官庁、政府系機関、民間企業を中心に各団体から派遣される中堅幹部職員を対象として、内外の学者、専門家等を講師に招聘し、我が国経済社会における次代の後継者を育成することを目的とした研修セミナー（フォーラム'80）を実施した。

（1）開講状況（2021 年度からの継続を含む）

第 87 期：開講日 …………… 2021 年 12 月 9 日

終講日 …………… 2022 年 10 月 6 日

※ 修了後、第 87 期生会を結成し、定例研究会その他自主活動を行なっている。

第 88 期：開講日 …………… 2022 年 5 月 24 日

終講日 …………… 2023 年 3 月 7 日

※ 修了後、第 88 期生会を結成し、定例研究会その他自主活動を行なっている。

第 89 期：開講日 …………… 2022 年 12 月 8 日

※ 現在受講中

（2）講師・テーマ一覧（本年度実施分のみ掲載、役職は当時、敬称略）

<第 87 期>

月／日	講 師 名	役 職	テ ー マ
22. 4. 14	高 橋 哲 史	日本経済新聞社 経済部長	習近平指導部の中国と今後の日中関係
4. 22	原 聖 吾	株MICIN 代表取締役社長（CEO）	オンライン診療が拓く医療の未来
5. 19	竹 中 治 堅	政策研究大学院大学 教 授	日本政治の系譜と今後の展望 - 21 世紀における日本 -
5. 26	知 原 信 良	杏林大学 教 授	これからの税制-法人税と消費税を中心に-
6. 2	小 林 宏 之	元 日本航空株 機 長	危機管理について
6. 9	柴 田 明 夫	株資源・食糧問題研究所 代 表	最近の資源・エネルギー情勢と食糧問題
6. 21	及 川 智 正	株 農業総合研究所 CEO 東京農大非常勤講師	物流×IT～新しい農産物流通について～
7. 7	恩 田 宗	元タイ王国大使 総合研究フォーラム顧問	健康で長生きするには
7. 14	山 本 淳 子	京都先端科学大学 教 授	平安朝文学の世界
7. 21	伊 藤 数 子	元東京オリンピック・パラ リンピック組織委員会顧問	ユニバーサルコミュニケーションの実現に向けて
9. 8	橋 本 久 義	政策研究大学院大学 名誉教授	日本経済の展望
9. 13	小 林 英 夫	早稲田大学 名誉教授	ポストコロナ禍の ASEAN の現状と展望

月／日	講 師 名	役 職	テ ー マ
9.22	中 尾 武 彦	みずほリサーチ&テクノロ ジーズ理事長	元気は日本を創る～アジア・世界からの 視点～
9.29	西 口 孝 弘	株式会社 empheal 代表取締役社長	国内の健康・医療の実情と課題
10.6	終 講 式		

<第88期>

月／日	講 師 名	役 職	テ ー マ
22.5.24	開 講 式		
5.31	岩 田 清 文 尾 上 定 正	元 陸自 陸上幕僚長 元 空自 補給本部長	国際環境の変化と日本の安全保障
6.14	坪 内 浩	日本大学 教 授	日本経済をどう見るか
6.21	及 川 智 正	(株) 農業総合研究所 CEO 東京農大非常勤講師	物流×IT～新しい農産物流通について ～
6.28	石 川 薫	日本国際フォーラム研究 本部長 元駐エジプト大使	日本の国際社会への復帰
7.7	恩 田 宗	元タイ王国大使 総合研究フォーラム顧問	健康で長生きするには
7.14	山 本 淳 子	京都先端科学大学 教 授	平安朝文学の世界
7.19	鈴 木 壮 太 郎	日本経済新聞社 国際部長	朝鮮半島情勢と今後の展望
9.8	橋 本 久 義	政策研究大学院大学 名誉教授	日本経済を展望
9.13	小 林 英 夫	早稲田大学 名誉教授	ポストコロナ禍のASEANの現状と展望
9.22	中 尾 武 彦	みずほリサーチ&テクノロ ジーズ理事長	元気は日本を創る～アジア・世界から の視点～
10.4	野 田 健 太 郎	立教大学 大学院 教 授	事業継続マネジメントによる企業価値 向上について
10.11	森 亮 二	流山市議会 議 長	自公政権下で求められる国と地方政治 の関係
10.18	高 坂 哲 郎	日本経済新聞社 編集委員	ウクライナ戦争 実情・背景と日本へ の課題
10.25	小 泉 文 明	メルカリ会長／鹿島アント ラーズ・エフ・シー社長	メルカリグループの成長の軌跡と今後 の戦略
11.8	竹 中 治 堅	政策研究大学院大学 教 授	日本政治の系譜と今後の展望 - 21 世紀 における日本-
11.15	柴 田 明 夫	(株)資源・食糧問題研究所 代 表	最近の資源・エネルギー情勢と食糧問 題
11.22	知 原 信 良	杏林大学 教 授	これからの税制-法人税と消費税を中 心に-
12.6	丸 谷 浩 史	日本経済新聞社 編集局次長 (兼政治部長)	日本政治の軌跡

月/日	講師名	役職	テーマ
12.20	小林宏之	元 日本航空(株) 機長	リーダーシップ
23.1.19	小島慎和	(株) bajii 代表取締役 CEO	シンガポールでの起業から始まり、国内外で連続起業して行く中で見えてきた日本のこれから
2.14	伊藤数子	元東京オリンピック・パラリンピック組織委員会顧問	ユニバーサルコミュニケーションの実現に向けて
2.21	西口孝弘	株式会社 empheal 代表取締役社長	国内の健康・医療の実情と課題
2.28	野口秀行	ノースアジア大学 教授	台湾有事・米中対立・ウクライナ侵略とラピダスの行方・FRBの引き締め政策
3.7	終講式		

### <第89期>

月/日	講師名	役職	テーマ
22.12.8	開講式		
12.22	坪内浩	日本大学 教授	日本経済をどう見るか
23.1.19	小島慎和	(株) bajii 代表取締役 CEO	シンガポールでの起業から始まり、国内外で連続起業して行く中で見えてきた日本のこれから
1.26	岩田清文	元 陸自 陸上幕僚長	国際環境の変化と日本の安全保障
2.16	橋本久義	政策研究大学院大学 名誉教授	日本経済の展望
3.4	吉田恵一	ニチガス 専務取締役執行員	エネルギー問題と電気事業を巡る諸課題
3.16	森亮二	流山市議会 議長	自公政権下で求められる国と地方政治の関係

## 【2】 国際交流

(1) 2023年2月第41回海外研修団を組織し、総勢18名でタイを訪問した。概要は次の通り（敬称略。所属肩書などは当時）。

① 期間	2023年2月8日～2月12日		
② 団長	小島誠二	一般社団法人総合研究フォーラム理事	
③ 主な訪問地	バンコク（タイ）		
④ 主要行事（肩書きなどは当時、面会訪問順）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 梨田大使講話</li> <li>・ バンコク日本人商工会議所石井専務理事、易木副事務局長講話</li> <li>・ クボタファーム見学</li> <li>・ Flair社神谷社長講話</li> <li>・ タイ高専（KOSEN）高嶋氏講話、見学</li> </ul>		

(2) 研修セミナー参加者を中心に国際交流にかかわる研究会を催した<敬称略>

月/日	講師名	役職	テーマ
22.6.7	小島 誠 二	元タイ王国大使 総合研究フォーラム理事	コロナ後の国際情勢と日本の役割
6.16	橋爪 吉 博	日本エネルギー経済研究所 石油情報センター事務局長	今後の原油情勢
12.15	小島 誠 二	元タイ王国大使 総合研究フォーラム理事	コロナ後の国際情勢と日本の役割
23.1.24	橋爪 吉 博	日本エネルギー経済研究所 石油情報センター事務局長	今後の原油情勢
3.23	兵頭 慎 治	防衛省防衛研究所 政策研究部長	ロシアによるウクライナ侵攻の衝撃

### [3] 政策研究

(1) 施設見学研修を下記の通り開催した。

期 日	2022年9月30日(金)～10月1日(土)
視察、訪問先等	北海道特別研修<Jファーム苫小牧工場見学、陸上自衛隊北部方面隊沖邑総監講話並びに部隊見学、航空自衛隊千歳基地見学>
期 日	2023年3月10日(金)～3月11日(土)
視察、訪問先等	九州特別研修<西日本FH久保田会長講話、ペイペイドーム、天神ビジネスセンター、西日本シティTT証券、九州国立博物館見学>

(2) 昨年度に引き続き研修セミナー参加者を中心に研究会を催した<敬称略>。

月/日	講師名	役職	テーマ
22.5.12	篠田 邦彦	元経産省通商交渉官	RCEPとインド太平洋協力
9.27	吉武 博通	筑波大学 名誉教授	大学を取り巻く状況と真の改革に向けた課題
11.1	松本 尚	衆議院議員	危機管理のできる国に
12.13	保坂 修司	日本エネルギー経済研究所 中東研究センター長	今、中東で何が起きているか
23.3.2	吉武 博通	筑波大学 名誉教授	大学を取り巻く状況と真の改革に向けた課題